



大井川本線19駅ウォーク(第1ステージ)

2019.05.19 14km 短縮 8.5km

千頭駅→金谷駅 歩き継ぎ

(4日間 約48Km)

第1ステージ

千頭駅～田野口駅

コースの概要

千頭駅でトイレと体操を済ませてウォークスタート。音戯の郷の駐車場を抜けて大井川に架かる千代橋(の歩道用橋)を渡り、しばらく大井川沿いの道を歩いて国道R362に出ます。すぐにトンネルで、これを抜けるとまた橋(柳崎大橋)を渡ります。このあたりの大井川は大きく蛇行しているため、何回も橋を渡ります。今回は8回です。国道から旧道に入ると目立たない場所に崎平(さきだいら)駅があります。トイレ休憩にはまだ早いですが、この先昼食場所までトイレがありませんので心配な方はここで済ませてください。ただし数は少ないです。青崎橋を渡りループ状の県道を行くと青部駅です。ここからは新しくできた青部トンネルを通ることもできますが、趣のないトンネルを避けて丘越えします。さほど急坂ではありませんので心配無用です。丘越えしたところでまた橋にぶつかりますが、歩道がある右側に渡るため、ガードをくぐります。橋を過ぎたら旧道に入り、昔の商店街のような道を行き、万世橋を渡って国道362を歩くと駿河徳山駅が左に見えます。涼徳橋を渡りフォーレなかかわね茶茗館で昼食です。ここでは300円でおいしいお茶と茶菓子をいただくことができます。2種の川根茶の飲み比べやおいしいお茶の淹れ方を習います。長めのランチタイムを取りますので興味のある方はお試しください。昼食後は再び涼徳橋を渡って駿河徳山駅に寄ります。その後は県道を田野口駅まで歩きます。駅の周辺は広いのですが、途中バスが入るのが難しい場所がありますので、約1kmほど歩いて国道に出てゴールになります。田野口駅にも最小限のトイレしかありませんので緊急対応とします。バスに30分ほど乗って川根温泉隣の村の市でトイレ休憩し、新東名では清水PAに立ちよった後、富士宮に向かいます。短縮コースは、昼食後も茶茗館周辺で時間を過ごしていただきます。

参加者の皆様へ

- ・ 無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・ 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している。他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・ スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・ 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・ 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・ 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

緊急時連絡

増田敏幸 080-2612-4825
鈴木 覚 090-7308-1056

バス席確保についてのお願い

バスの席確保は自分を含めて2席までが原則です。ルールを守って楽しい1日を送りましょう!!

大井川鉄道大井川本線

大井川本線は島田市の金谷駅と榛原郡川根本町の千頭駅とを結ぶ大井川鉄道の鉄道路線である。蒸気機関車(SL)の動態保存・運行が行われている路線として知られる。また、元近鉄の特急車両、元南海の急行車両が、大井川鉄道に譲渡される前の塗色のままで運転されている。

- ・ 路線距離(営業キロ): 39.5km
- ・ 駅数: 19 駅(起終点駅含む)
- ・ 複線区間: なし(全線単線)

次回申込(バス内・昼食場所で) 横浜新日名所めぐりウォーク

☆期日 6月9日(日)
☆集合 富士宮駅南口 6:30
☆参加費 5,400円
☆切 6月4日(火)

千頭駅

千頭は、狭(セマ)・ト(処)の転で、大井川沿岸の狭い地形を表している。愛知県の瀬戸市や東京の千駄木や千駄ヶ谷と同じ地形由来の地名である。千頭駅は3面5線のプラットホームをもつ。1-4番線は2面4線のホームであり、大井川本線のSL急行および普通列車が発着する。6番線は井川線が発着するホームであり他のホームよりも高さが低くなっている。また、駅付近は広大な車庫になっており、夜間滞泊が設定されている。金谷寄りのところに転車台があり、現在はほぼ毎日使用されている。この転車台は、1897年(明治30年)にイギリスで製造された転車台であり、東赤谷駅から1980年(昭和55年)7月20日に移設され、同年11月12日に使用を開始した。手動式で、駅員や機関士が5人がかりでSLを方向転換させる。かつてはイベントや映画の撮影でしか使用されていなかったが、2011年(平成23年)9月に新金谷駅に設置された転車台が、同年10月7日から使用を開始したことに伴い、双方の転車台で原則的に常時SLの方向転換が実施されるようになった。

道の駅フォーレなかかわね茶茗館

平成6年春オープンしたフォーレなかかわね茶茗館は、川根本町の暮らし、自然、産物などをお茶をキーワードに紹介する新コミュニティエリア。緑深い山々をバックに、自然に溶け込むような、素朴でぬくもりのある建物が特徴である。1階は、地域住民によるイベント開催や手づくりの作品を発表などの情報交換や交流の場となる多目的スペースを中心に、お茶やまちの情報を遊び感覚で紹介している。喫茶カウンターでは川根本町名物のお菓子をお茶うけに、美味しいお茶を味わうことができる。2階は、縄文時代から続く川根本町の歴史や数百年の伝統を持つ茶業の歴史を、貴重な出土品や文献、当時の道具を通じて触れることができる。毎年8月15日に行われる国指定重要無形民俗文化財『徳山の盆踊』の映像などもたっぷり鑑賞できる。

コース

往路 富士宮駅南口==新富士==藤枝PA(WC)==島田金谷IC==千頭駅(WC・体操)
7:00 7:45~8:00 9:10~30
ウォーク 千頭駅(スタート)・・・崎平駅(WC)・・・青部駅・・・フォーレなかかわね茶茗館(昼食・WC)
9:30 10:15~30 10:50~11:00 12:10~13:30
・・・駿河徳山駅・・・田野口駅・・・R362 沿い(ゴール)
13:40~50 14:50~15:00 15:15
復路 R362 沿い==村の市(WC)==島田金谷IC==清水PA(WC)
15:15 15:40~16:00 17:30
==新富士IC==富士宮駅
18:00

R362 沿い
ゴール
15:15

フォーレなかかわね茶茗館
昼食・WC
12:10~13:30

駿河徳山駅
13:40~50

田野口駅
14:50~15:00

崎平駅
WC
10:15~30

青部駅
10:50~11:00

千頭駅
WC・体操・スタート
9:10~30

